

新城市民病院での研修を終えて

豊橋市民病院 研修医

この度新城市民病院にて地域研修を1か月間受けさせていただきました。地域医療実習として学んだことをレポートさせていただきます。

新城市民病院では診察のたびにわからないことを上級医の先生に上申させていただき、時には、診察にご一緒させていただくこともありました。毎日外来の振り返りを行っており、自分の見た患者さんや上級医の先生方が診療した患者さんのフィードバックを毎日行っていました。自分にとっては非常にためになるものでした。豊橋市民病院では研修医の仕事は主に救急外来を任されているのですが、フィードバックをし、どういう検査を行っているのが理想だったのかということ振り返らず終わることも多々ありました。

検査に対する考え方も、闇雲に検査をオーダーするのではなく事前確率、感度、特異度などに基づき身体所見、病歴と合わせてオーダーするというものでした。自分は救急外来で何も考えずにオーバーに検査を施行することが多く、無駄となる検査も多かったのです。これからは今回の実習で学んだ病歴聴取、検査への考え方を生かしながら診療を進めていきたいと考えております。

院外実習では作手診療所、訪問看護、訪問リハビリ、新城助産所で実習させていただきました。作手診療所での診療でもいろいろな主訴から見逃してはいけないような疾患を見つけなければならず、やはり身体所見や病歴聴取の大切さを実感させていただきました。訪問看護での実習では家で介護する大変さに気づかされました。

地域実習を通して地域医療にどのような医療が必要とされているのかや地域医療に実際に携わることで都市の病院との連携に診療上だけでなく医療システムとしても何が必要であるかを考えさせられました。

今回新城市民病院で学ばさせていただいたことを忘れず豊橋市民病院に戻ってからも診療に活かしていきたいと考えています。医療的なことだけでなく患者さんの社会背景など多面的な視点で診療に当たりたいと考えています。

最後に、この1ヶ月間、総合診療科の先生方をはじめ病院のスタッフの方々、多くの施設の方々には大変お世話になりました。このような貴重な機会をいただけたことを大変ありがたく感じています。本当にありがとうございました。